

交付運用報告書

パン・アフリカ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2019年9月26日～2020年3月25日

第19期 決算日：2020年3月25日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、アフリカの成長によって恩恵を受ける企業の株式等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社は、2020年4月1日に商号をSOMP Oアセットマネジメント株式会社に変更します。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
 お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



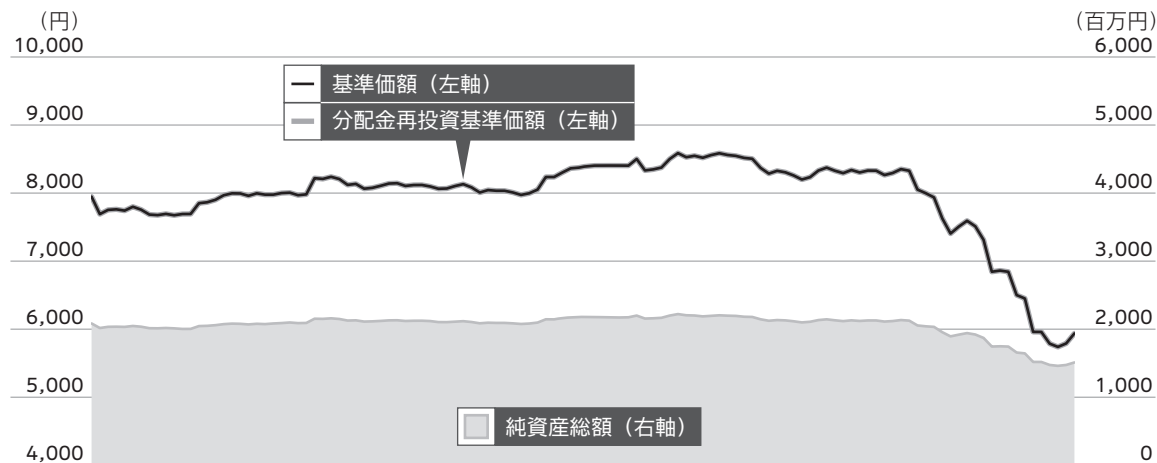
0120-69-5432

	第19期末 2020.3.25
基準価額	5,937円
純資産総額	1,510百万円
騰落率*	△25.3%
期中分配金合計	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



第18期末
2019.9.25

第19期末
2020.3.25

第19期首

第19期末

基準価額
7,947円

騰落率
△25.3%
(分配金再投資
基準価額ベース)

基準価額
5,937円
(期中分配金
合計0円)

基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年9月25日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マルチ ストラテジーズ ファンドー U B P アフリカン・エクイティ・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

パン・アフリカ株式ファンド

主要投資対象である「マルチ ストラテジーズ ファンドーU B Pアフリカン・エクイティ・ファンド」の基準価額が下落したことから、当期の基準価額は下落しました。

主要投資対象である「マルチ ストラテジーズ ファンドーU B Pアフリカン・エクイティ・ファンド」においては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が高まったことからアフリカ株式市場が下落したことなどがマイナス寄与しました。また、エジプト・ポンドやモロッコ・ディルハムが対円で堅調に推移したものの、南アフリカ・ランドやナイジェリア・ナイラが対円で下落したことから為替もマイナス寄与となりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンド及びマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	第19期 2019.9.26~2020.3.25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	44円	0.542%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,085円です。
(投信会社)	(15)	(0.191)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.328)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	44	0.547	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

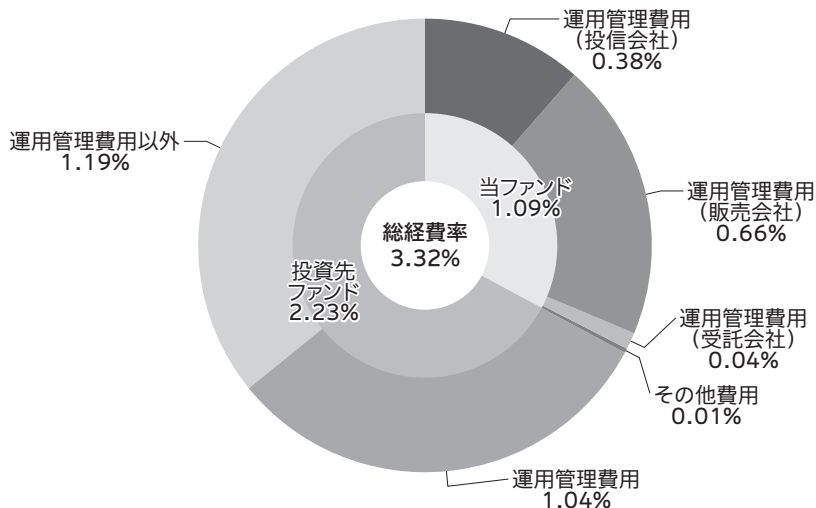
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は3.32%**です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	3.32
①当ファンドの費用の比率	1.09
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.04
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.19

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2015.3.25～2020.3.25



- 分配金再投資基準価額の推移は、2015年3月25日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マルチ ストラテジーズ ファンドーU B P アフリカン・エクイティ・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2015.3.25 決算日	2016.3.25 決算日	2017.3.27 決算日	2018.3.26 決算日	2019.3.25 決算日	2020.3.25 決算日
基準価額 (円)	10,373	8,199	8,929	10,144	8,373	5,937
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	100	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 21.0	8.9	14.7	△ 17.5	△ 29.1
純資産総額 (百万円)	1,174	688	2,344	2,608	2,167	1,510

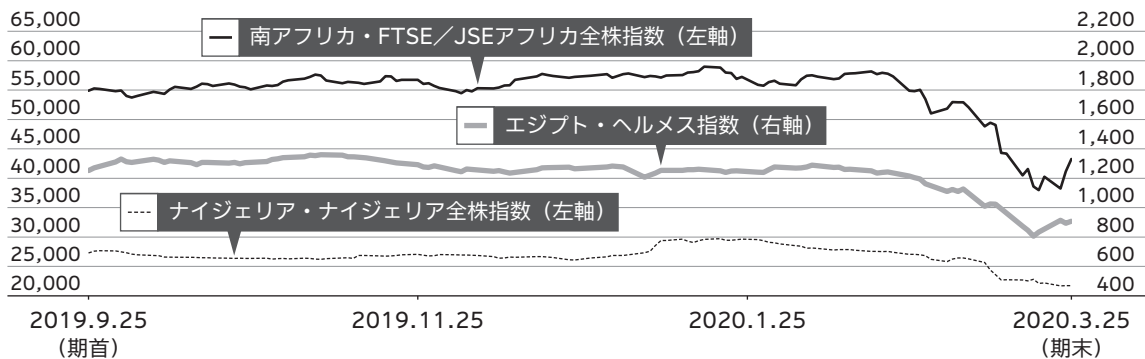
● 投資環境

○ アフリカ株式市場

当期のアフリカ株式市場は、下落しました。

南アフリカ株式市場は、期の前半は世界的にリスク選好的な市場環境となったことや、2019年12月には経営難に陥っていた南アフリカ航空の救済を発表したことなどを受けて堅調に推移しました。しかし2020年2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感から世界的に株式市場が下落する中、南アフリカ株式市場も下落しました。エジプト株式市場は、期初は2019年9月のインフレ率が前月から大きく低下したことなどを好感し上昇したものの、11月には米国がエジプトに対し制裁措置を取る可能性があることと警告したことを嫌気し下落しました。期末にかけては、世界的な株式市場の下落に歩調を合わせる形で下落しました。ナイジェリア株式市場は2020年1月には大きく上昇した局面があったものの、2月下旬以降は世界的な株式市場の下落に歩調を合わせる形で下落しました

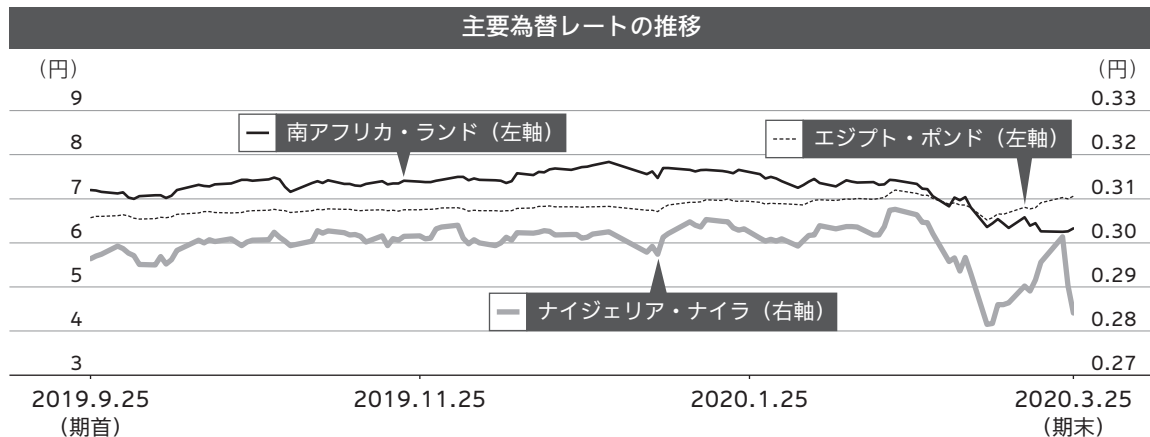
主要株式指数の推移



(出所：Bloomberg)

○為替市場

資源国通貨である南アフリカ・ランドやナイジェリア・ナイラは、2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて原油等の資源に対する需要が減少するとの懸念が広がる中、原油価格などの商品市況が大きく下落したことから対円で下落しました。一方、エジプト・ポンドは、相対的に短期金利が高いことなど海外からの資金流入に支えられ、対円で上昇しました。



(出所：Bloomberg および投資信託協会)

注．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。

マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンドへの投資比率を期を通じて高位に保ちました。

マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド

主として、南アフリカ、エジプト、ナイジェリア、モロッコ等に幅広く分散投資を行いました。

個別銘柄選択の結果、モロッコやエジプトの株式組入比率が小幅低下した一方で、ジャージーの株式組入比率が小幅上昇しました。

その他個別銘柄では、インターネット企業であるナスパーズ（南アフリカ）やスタンダード銀行（南アフリカ）等を購入した一方、ナスパーズから分離・独立されたプロサス（オランダ）やフォートレスREIT（南アフリカ）を売却しました。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略は定量分析に基づき、超長期ゾーンをオーバーウェイトするロングデュレーション戦略を基本戦略としました。ただし、超長期ゾーンのオーバーウェイト幅は市場の状況に合わせて機動的に変更しました。債券種別戦略は、非国債のオーバーウェイトを継続しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンドの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第19期 2019.9.26~2020.3.25
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,469

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期におけるファンドの運用成果[※]をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

● 今後の運用方針

パン・アフリカ株式ファンド

当ファンドは、主として「マルチ ストラテジーズ ファンドーU B Pアフリカン・エクイティ・ファンド」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。原則として、「マルチ ストラテジーズ ファンドーU B Pアフリカン・エクイティ・ファンド」への投資比率を可能な限り高位に保ちます。

マルチ ストラテジーズ ファンドーU B Pアフリカン・エクイティ・ファンド

当面は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響に注目が集まると考えられますが、長期的にはアフリカ経済の潜在的な成長に対して引き続き明るい見通しを持っています。南アフリカでは、足元の景気悪化は懸念材料ですが、今後、景気は徐々に持ち直してくると考えています。エジプトでは、インフレが落ち着いていることなどは好材料です。ケニアでは、中央銀行による利下げにより、今後、民間部門における貸出が増加することが期待されます。モロッコは、引き続き中長期的に明るい見通しを持っています。




損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略については、相場環境に応じてカーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。債券種別戦略については、非国債をオーバーウェイトする戦略を継続する方針です。

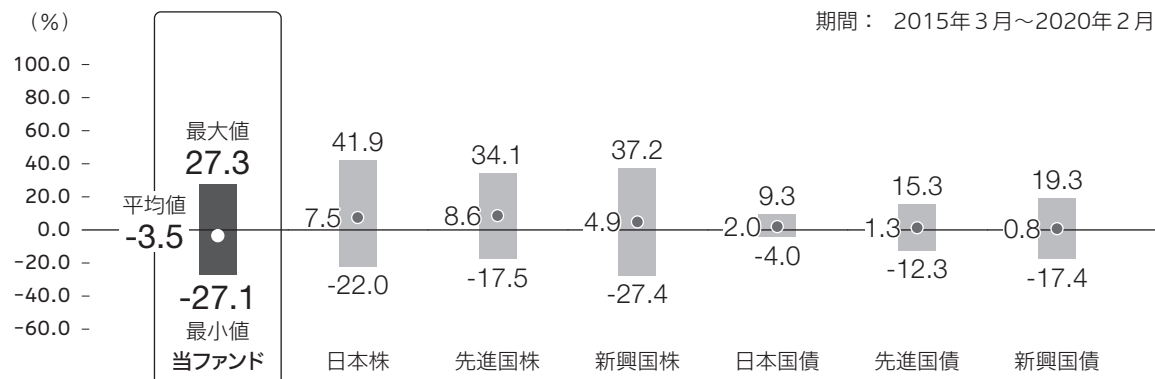
● お知らせ

投資信託の監査にかかる費用を適切に反映させるため、2020年1月から、監査費用の徴収方法を変更することと致しました。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2010年9月30日から2020年9月25日まで
運用方針	信託財産の中長期的成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	 パン・アフリカ株式ファンド 「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」  マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド アフリカに本拠を置く企業、または、アフリカでビジネスを拡大していくことが期待される企業の株式  損保ジャパン日本債券マザーファンド 日本の公社債
運用方法	① アフリカの成長によって恩恵を受ける企業の株式（アフリカ関連株式）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指します。 ② 年2回決算を行い、収益分配方針に基づき収益の分配を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は18～19ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

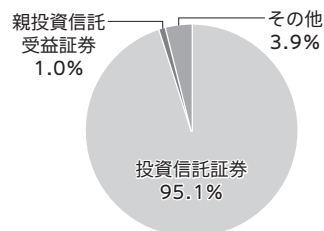
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

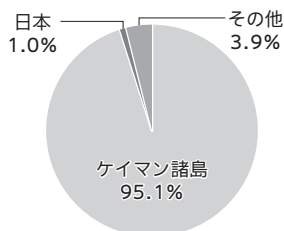
	第19期末 2020.3.25
Multi Strategy Fund – UBP African Equity Fund	95.1%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.0%

注. 比率は第19期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第19期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第19期末 2020.3.25
純資産総額	1,510,547,372円
受益権総口数	2,544,117,255口
1万口当たり基準価額	5,937円

※ 当期中における追加設定元本額は69,838,626円、同解約元本額は147,958,549円です。

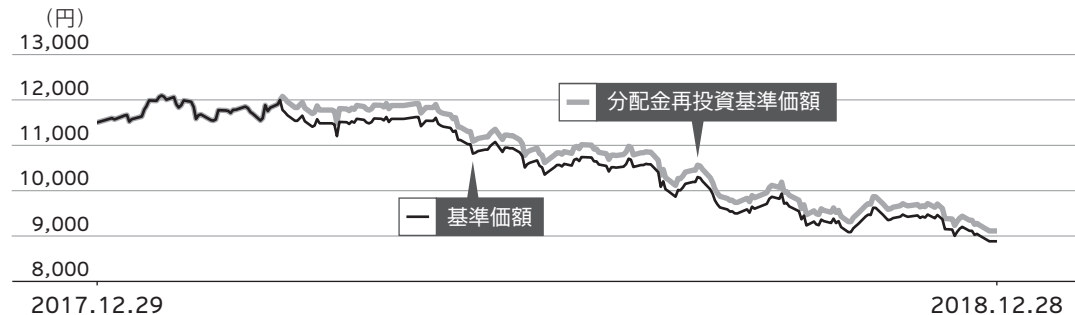
● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。



マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド

基準価額の推移



- 基準価額は、パン・アフリカ株式ファンドの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2017年12月29日の基準価額に合わせて指数化しています。

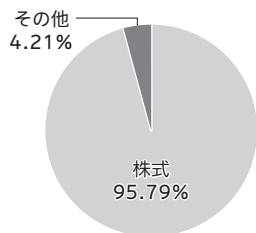
1万口当たりの費用明細

当該期間（2018年1月1日～2018年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

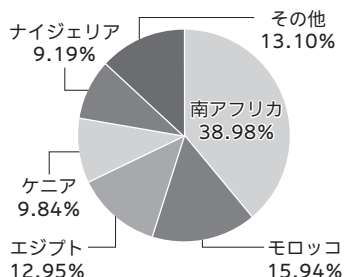
組入上位10銘柄

銘柄名	業種	国	比率
1 NASPERS LTD N SHS ZAR	コミュニケーション・サービス	南アフリカ	9.3%
2 COMMERCIAL INTL BK GDR LI LINE	金融	エジプト	5.1%
3 ATTIJARIWAFI BANK MAD	金融	モロッコ	5.1%
4 SAFARICOM PLC KES	コミュニケーション・サービス	ケニア	4.7%
5 MAROC TELECOM MAD	コミュニケーション・サービス	モロッコ	4.0%
6 BANQUE CENTRALE POPULAIRE MAD	金融	モロッコ	3.5%
7 MCB GROUP LIMITED MUR	金融	モーリシャス	3.4%
8 SONATEL XOF	コミュニケーション・サービス	セネガル	3.4%
9 CREDIT AGRICOLE EGYPT EGP	金融	エジプト	3.2%
10 KAP INDUSTRIAL HLDGS LTD ZAR	資本財・サービス	南アフリカ	2.4%
組入銘柄数		49銘柄	

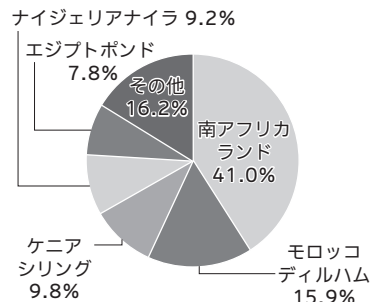
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2018年12月31日）現在のものです。

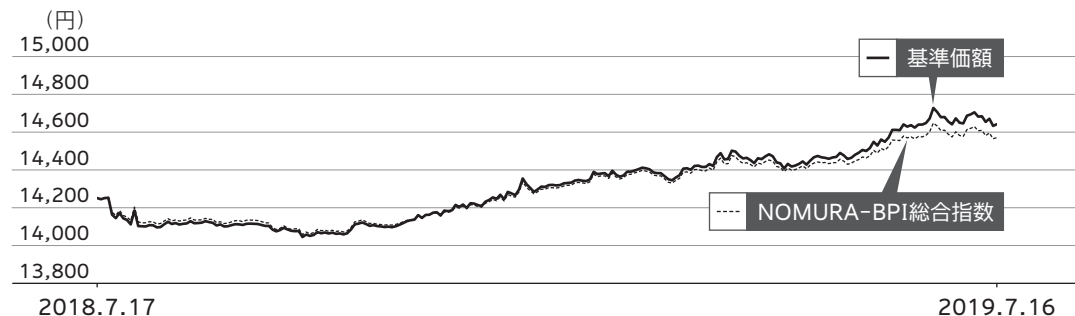
注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

注3. 組入上位10銘柄および通貨別配分は、「マルチ ストラテジーズ ファンドーU B P アフリカン・エクイティ・ファンド」の運用会社が作成したデータを掲載しています。資産別配分および国別配分は、組入ファンドの財務諸表より、委託会社が翻訳し作成したものです。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

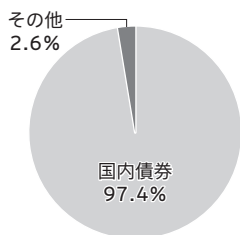
項目	2018.7.18~2019.7.16	
	金額	比率
その他費用	0円	0.001%
(その他)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は14,323円です。

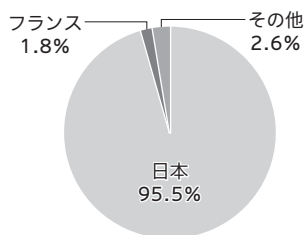
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第347回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	5.6%
2 第38回利付国債(30年)	国債証券	日本円	日本	4.6%
3 第150回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	4.0%
4 第139回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	3.7%
5 第350回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.6%
6 第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	3.6%
7 第353回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.1%
8 第158回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.9%
9 第345回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.7%
10 第401回利付国債(2年)	国債証券	日本円	日本	2.4%
組入銘柄数		83銘柄		

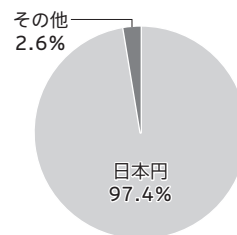
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2019年7月16日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

パン・アフリカ株式ファンド

検索

<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0915/price.html>

The screenshot shows the SOMPO Asset Management website. The main navigation bar includes 'ホーム Home', 'ファンド情報 Fund Information', 'マーケット・ファンドレポート Market & Fund Report', '当社の資産運用 Our Business', and '会社情報 About Us'. The breadcrumb trail reads 'HOME > ファンド情報 > パン・アフリカ株式ファンド'. The left sidebar lists 'ファンド情報' with sub-items: 'ファンド一覧', '基準価額一覧', 'ファンド検索', '分配金・償還金一覧', and '販売会社一覧'. The main content area is titled 'パン・アフリカ株式ファンド' and includes a table of documents:

交	交付目論見書 (2019.12.25)	運	交付運用報告書 (2019.09.25)	休	海外休業日 (申込不可日) 2020年
請	請求目論見書 (2019.12.25)	運全	運用報告書 (全体版) (2019.09.25)		
販	販売用資料 (2019.12.25)	月	最新月次レポート (2020.02.28)		

At the bottom of the table, it says '① 交付運用報告書・運用報告書 (全体版) バックナンバー'. There is also a small globe icon on the right side of the document table.

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報を説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。